



平成28年5月13日
株式会社 阿波銀行

平成28年3月期決算について

阿波銀行（頭取 岡田好史）は本日、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の単体および連結決算を発表いたしましたので、お知らせします。

1. 銀行単体決算概要

平成28年3月期の主要計数は次のとおりです。

	平成28年3月期	前年度比
コア業務純益	205億45百万円	2億79百万円 増益
経常利益	196億88百万円	7億30百万円 減益
当期純利益	126億14百万円	6億13百万円 増益
預金平均残高（譲渡性預金を含む）	2兆6,613億円	426億円 増加
貸出金平均残高	1兆6,850億円	446億円 増加
金融再生法開示債権比率	2.76%	0.13ポイント改善
自己資本比率（連結）	11.87%	0.97ポイント低下
経費率（修正OHR）	56.97%	0.32ポイント改善

2. 決算ハイライト

- ・コア業務純益は、貸出金利息が減収となったものの、有価証券利息配当金が増収となったことや、保険の販売が順調に推移し、役務取引等利益が増益となったことから、前年度比2億79百万円増益の205億45百万円となりました。
- ・経常利益は、一般貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、同7億30百万円減益の196億88百万円、当期純利益は、同6億13百万円増益の126億14百万円となりました。
- ・コア業務純益および当期純利益は、それぞれ過去最高益を更新しました。
- ・預金平均残高（譲渡性預金を含む）は、個人預金・法人預金がそれぞれ順調に推移し、同426億円（同1.6%）増加しました。貸出金平均残高も、主力の中小企業のお客さま向け等の融資増強に取組んだ結果、同446億円（同2.7%）増加しました。

3. 平成29年3月期の業績見通し（単体）

	コア業務純益	経常利益	当期(中間)純利益
平成28年9月期(中間期)	80億円	78億円	50億円
平成29年3月期	170億円	158億円	104億円

- ・平成29年3月期の業績見通しについては、有価証券利息配当金の大幅な減収を主因に資金利益の減益を見込んでおり、上記のとおり予想しております。

以上

※詳しくは [決算短信](#) をご覧ください。